

インターネット

インターネットは私たちの生活を大きく変えたが、その始まりがどこからなのかを知ることは難しい。ほとんどの人はすでに完全にインターネットを使いこなせる。この協力的な道具の使い方を知らなければ、実に多くのとんでもないほど恐ろしいことが起こり得る。どんなことが起こるのかを考えただけで、使ってみようかと思うことさえしないと決めてしまう人がいる。実際、私の老齢の叔母は長い間コンピューターを使っているが、インターネットに接続することを拒んでいる。彼女はコンピューターに侵入し、すべてのデータを消し去り、さらには銀行口座から預金全てを持ち逃げするだろう**ハッカー** (hackers) に関するあらゆる話を真に受けている。しかし、恐怖から逃れるために完全に孤立する必要はないと私は思う。必要なことは自分自身の守り方をいくつか学ぶことで、そうすればインターネットが人生にもたらす幸運を享受することができる。

インターネットでのあらゆる種類の被害から自分自身を守るには、ある程度の基本的な専門用語を学ぶことになる。まずは電子メール・**サーバー** (server) から受け取るあらゆるゴミから始めよう。毎日**受信トレイ** [inbox] をいっぱいにする**迷惑メール** (junk mail) や**広告メール** (spam) の一切にだまされてはいけない。もちろん、個人情報^{やから}を狙った輩に気をつけなければいけない。こうした悪党は**仮想通貨** (Bitcoins) からサングラスに至るあらゆるものを提供し、可能な限りの膨大な電子メールを送りつける。たぶん聞いたこともない会社からの請求書を受け取ったり、持ってもいないカードの**暗証番号** (pin) を様々なクレジット会社から求められることだろう。**フィッシング詐欺** (phishing) という言葉は「釣り (fishing)」に由来する。何かを「釣る (fish)」ときには、魚を捕えるための「釣り針」を繰り出す。**フィッシング詐欺をする** (phish) 人間にとっての釣り針は、合法的なウェブサイトから送られてくるのとそっくりのメールである。もしそうしたメールによって詐欺に「引っかかる」、つまりだまされて自分自身の極秘情報を知らせてしまうと、仕舞いには盗み取られてしまうことになる。むろん、最善の策はこうした**フィッシング詐欺** (phishing) のメールを1つ1つ**削除する** (delete) ことである。**フィッシング詐欺対策ソフト** (phishing walls) をコンピューターに組み込んでフィルターをかけて、ペテン師どもの侵入から自分のメールサーバーを守ることもできる。

一般に **SNS** と呼ばれる**交流サイト** [ソーシャル・ネットワーキング・サービス (Social Networking Services)] からも身を守らなければならない。世界中の利用者が数十億人であることから、**フェイスブック** (Facebook)、**ツイッター** (Twitter)、**インスタグ**

ラム (Instagram)、**ユーチューブ** (YouTube) は会話に欠くことのできないものなので、大方の人がその楽しみにすぐにでも加わりたいと感じている。しかしながら、**SNS** の非常に高い人気には必ず問題があるはずだ。世界中の誰もがこうしたサイトに情報を無料で**アップロードする** (upload) ことができ、かつ世界中の誰もがその情報を閲覧することができるとなれば、ある動画や**ツイート** (tweet) が**あつという間に拡散する** (go viral) 危険性はきわめて高い。「**急速に拡散する** (go viral)」とは、**ミーム** (それぞれの情報が、物理的な「遺伝子」に相当するものとしてリチャード・ドーキンスによって名付けられた「文化のミーム」に類似していることからそう呼ばれる) が動画、**ツイート**、あるいは**インスタグラム**上の写真という形で何十万、それどころか何百万という人々に見られていることを意味する。ある1つの情報がそれほど多くの人々の目にさらされるということは、その情報に接する人々の生活が想像し得ない様々な形で影響されていることを物語っている。動画が**急に拡散した** (went viral) だけのことでその動画の人物がとて有名になったり、ほかの文化的な現象と同様にこうした情報の拡散が彼ら個人の先行きの吉兆を示すかもしれない。ひどい場合は**トロリング** [インターネット上での挑発的なメッセージの投稿 (trolling)] と呼ばれるいじめの形をとる。**インターネットの挑発的な投稿者** (trolls) は、他人がインターネット上でしたこと、言ったこと、あるいは投稿した何らかのことを理由に、最も残忍で非情なやり口で彼らを攻撃して楽しむ。**トロリング** (trolling) の犠牲者が自らの命を絶つことは最近では珍しいことではない。しかしながら、これが **SNS** の唯一の危険ということではない。こうしたサイトは常に**不正侵入され** (hacked) ていて、そうして集められた情報はその代価を喜んで支払おうという者には誰にでも売り渡される。だからあなたは次に述べる私がしたことをすることができる。私はたった1年ほどで**フェイスブック** (Facebook) をやめた。最初、フェイスブックを始めることはよい考えのように思えた。長い間話をする事のなかった人と連絡が取れるし、また彼らが何をしているのかがわかるだろうと思った。しかし、数か月するとこれがいかに煩わしいかが分かった。連絡を取りたいと思っていない相手が「友達になって」と頼んできたり、全く名前も聞いたこともない人が私にメールを送ってきたり、さらには自社の**フェイスブック** (Facebook) のようなサイトを使わせようとする会社があった。これはもううんざりだと思い、私はその **SNS サイト** に加入した履歴をすべて消去した。もしあなたがこれほどの極端な変化に耐えられないのであれば、世界中の人々が目にする写真を掲載しないように注意することもできるし、住所、電話番号、クレジットカード情報、そして社会保障番号といったいかなる情報も投稿することを避けることができる。幸運を祈っています。

インターネットは素晴らしい情報とやって楽しいことであふれているので、私は知り合い全員に利用するようにせき立てるほどである。個々人の**コンピューター機器** (device) に適切な**サイバー・セキュリティ** (cybersecurity) を購入し、自動的にソフトを**更新す**

る（update）限りは、かなり安全だろう。しかし、世の中には個人情報を得ようとする人（そしてたぶん人工知能（AI））が必ず出てくるだろう。だから、常に警戒するようにすることである。

結 論

言語は常に変化するからとても興味をそそる。私たちが新しい言葉や表現を学ぶことに終わりはない。常に外国から新語や表現は入ってくるだろうし、新たに開発された科学技術にふさわしい新語が作られ、そしてすでに知られている言葉から新たな表現が生み出されることだろう。あなたが次に読む新聞の記事の中に新語を見つけるかもしれない。